

令和8年度 新潟市キャラバン・メイト養成研修カリキュラム(予定)

令和8年7月10日(金): 新潟テルサ2階 大会議室

時間	内 容	目 的	担当・テキスト該当章
9:30～ 10:00 (30分)	I オリエンテーション 1 新潟市のキャラバン事業の取り組みについて 2 キャンペーンビデオ (15分) 3 認知症サポーターキャラバンとは 4 研修のねらい	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。	事務局 市担当者 <養成テキスト 序章>
10:00～ 12:00 (120分) 途中休憩含む	II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいかを理解する。	総合リハビリテーションセンター みどり病院副院長 脳神経内科 矢島 隆二 先生 (新潟市認知症サポート医) (講師時間)→ 10:00-12:00 (120分) <養成テキスト 第1章>
休憩60分	昼食休憩		
13:00～ 13:45 (45分)	III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1. 認知症の人を地域で支える グループワーク① こんなとき、どこにつなげたらいいか考えてみよう ○地域ケアシステムで支える 地域包括支援センター、地域の社会資源をおさえる	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。	各地の講座についての紹介(住民、職域、学校) チームオレンジの概要紹介 <養成テキスト第2・3・4章>
13:45～ 16:15 (150分) 途中休憩含む	2. キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○各地のサポーター講座の様子 ○サポーターの活動事例 ○サポーター養成講座の企画・運営ポイント グループワーク② “講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう” …講座の開催先を考える グループワーク③ 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう ○事例紹介 講座開催までの流れ等 ○質疑応答 Q&A	①キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者の検討。 ②サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらう機関の洗い出し。 ③グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。 ①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。 ※グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(テキスト第2章該当)を押さえる。	
16:15～ 16:30 (15分)	IV 事務連絡等 キャラバン・メイト登録について アンケート回収 修了証書・ピンバッジ等 授与		サポーターキャラバン事務局 <養成テキストp88～p.96>

合計=360分